

良質で安心していただける医療を

まいづる きょうさい

<http://www.maiduru.com>

2018
1

Vol.30

Maizuru
Kyosai
Hospital

公益財団法人
日本医療機能評価機構

病院機能評価(3rdG Ver1.1)
認定病院

地域医療支援病院認定施設



Contents

年頭のご挨拶	2
赴任医師の紹介	3
処方箋用紙の変更のお知らせ	3
認定看護師紹介	4～6
理念・基本方針	6
すこやかな森ニュース	7
診療時間・外来各科診察担当医	8



「ウユニ塩湖の夕焼け」 Photo / 田中 昭生先生 (歯科口腔外科)

国家公務員共済組合連合会

舞鶴共済病院

発行人／布施 春樹 編集／舞鶴共済病院広報委員会
〒625-8585 京都府舞鶴市字浜1035番地
TEL0773-62-2510 FAX0773-64-4301

ホームページもご覧ください

舞鶴共済病院

検索



平成30年 年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。年頭に当たりまして、一言ご挨拶させていただきます。

昨年、当院は創立110年を迎え、110年記念誌を刊行しました。当院の成り立ちを改めて見直すことで、現在の状況がいかなるものかを考え、さらに当院の未来をどうしたらいいのかに思いをはせることができたと思います。現在の状況を見ると、ここ数年の医療情勢は相変わらず厳しいものがあります。今年はこの4月に診療報酬改定が、介護報酬改定と併せて決定されます。まだその全容は明らかではありませんが、厳しい状況となることは予想されます。しかし、その方向性はほぼ当院が進もうとしている方向性と相違はないように考えています。

当院は舞鶴市を中心に北部京都さらに福井県嶺南地方からも患者さんが受診しています。当院の方向性とは、今後も北部京都・嶺南地方の地域の急性期基幹病院としてその役割を果たしていくことであります。またICU・CCUを保持する唯一の病院として高度急性期機能を維持し、その中で地域包括ケア病棟を運用して効率よい医療を提供していくことも当院の方向性の一つであります。

そこで常に問題となるのは、やはり医師不足です。ここ数年は特に救急分野での医師不足が顕著です。舞鶴市の救急医療はここ数年、各公的病院が、いろいろ問題を抱えながら、何とか救急体制を保っているのが現状で、むしろ近年悪化しているといっても過言ではありません。

根本的には公的病院それぞれの医師不足が大きな原因となっていますが、一方では救急におけるコンビニ受診はいまだに多く、担当医師及びスタッフの疲弊そしてモチベーション低下をきたし救急医療の環境悪化の大きな原因となっています。行政にもこの実態を常に病院から発信して、行政側とともに市民に対しアナウンスはしていますが、さらに効果のある抜本的な施策の必要性を感じます。全般的な医師不足については、これまでも常に取り組んでいる問題ではありますが、一朝一夕には解決しません。医師の派遣はやはり安定した派遣を考慮して、現在派遣いただいている5つの大学との関係は大事にしなければなりません。

さらに医師に選ばれる病院の条件として、最新の医療

機器導入も含めた医療環境を整えていくことも重要と考えています。研修医については、応募者も増加してきております。「研修医なき病院に常勤医なし」との考えのもと、さらに当院を対外的にアピールしていこうと思います。

また、医師・研修医のみならず、各職種のスタッフも当院を選んでもらえるように、正確な最新の情報を提供するためのツールとしてのホームページを昨年一新しました。今後さらにホームページを充実したものにしていこうと思います。

今後の舞鶴市の医療に目をむけると、他の公的病院・開業医の先生とのさらにスムーズな病診連携・病病連携を促進することはもちろんですが、公的病院間での医療機能集約化もしくは機能強化は必須の事項となってきていると思います。舞鶴市民に安全な医療を提供するために、行政も加わって、この機能集約化・強化についてさらに具体的に真摯な話し合いをして、それを実行して行く必要があると思っています。

さて、以前から申し上げている医療の質の向上としてのチーム医療の推進も、まだ道半ばです。診療部、看護部、事務部それぞれの部署で一人ひとりが「プロ意識をもって、それぞれの職務を全うすること」でレベルアップをし、さらにその部署間でのコミュニケーションを密にして、情報を共有することが基本となります。そのためには各部署で、働きやすい職場環境を構築していくことが、大変難しいのですが、非常に重要であることは昨年同様、今年も強調させていただきます。

当院では、昨年今後5年間の当院の方針を示す第3次中期計画を作成しました。今後、この中期計画を軸にして「良質で、安心していただける医療を提供する」という理念のもと、今後とも舞鶴共済病院が地域の特徴あるさらに患者さんに選ばれる病院であるように、職員一同努力していききたいと思います。

最後に本年が、皆さん一人ひとりにとってまた舞鶴共済病院にとって、より良い年になることを祈念して、私の年頭の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

平成30年1月

舞鶴共済病院長 布施 春樹

赴任医師の紹介

新たに舞鶴共済病院に赴任しました
2名の医師をご紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。

[敬称略、順不同]



林田 恭子
はやしだ きょうこ

心臓血管外科

平成 29 年 8 月 1 日採用

【出身大学】 京都府立医科大学(平成7年卒)

【専門領域】 成人心臓血管外科、
腹部末梢血管外科、静脈疾患

【所属学会】 日本外科学会、日本腹部外科学会
日本心臓血管外科学会、日本循環器学会
日本脈管学会、日本血管内治療学会
日本静脈学会、日本集中治療学会

【認定医・専門医等】 日本外科学会外科専門医
3学会構成心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医
日本循環器学会循環器専門医、日本脈管学会脈管専門医
下肢静脈瘤血管内焼灼実施医・指導医

【趣味】 音楽鑑賞

ひとこと

患者さんお一人お一人の病状に合わせて最善の医療を提供できるよう、安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。



森本 和樹
もりもと かずき

心臓血管外科

平成 30 年 1 月 1 日採用

【出身大学】 京都府立医科大学(平成19年卒)

【専門領域】 心臓血管外科

【所属学科】 日本外科学会、日本胸部外科学会
日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会
日本小児循環器学会、日本冠動脈外科学会
日本冠疾患学会

【認定医・専門医等】 日本外科学会外科専門医

【趣味】 スノーボード、空手、旅行

ひとこと

良質で安心できる医療を提供したいと思います。

処方箋の大きさ・色の変更と 血液検査結果の表示開始について

2018年1月15日から処方箋の大きさをA5からA4(この用紙の倍に大きさ)へ、色を青色から白色へ変更となりました。また、処方箋下部に最新の血液検査結果の一部が表示されるようになります。(直近3ヶ月間に検査が無い場合は空欄になります。)

この検査値の表示は保険薬局での調剤時に当院処方箋の適正使用や服薬説明に活用していただき、医薬分業による薬局機能を十分に活用するためのものです。この取り組みは2011年頃から国立大学の附属病院を中心に取り組みが始まり、当院でも表示することとしました。

検査値の表示を希望されない場合は担当医師または当院薬剤科窓口にご相談ください。



認定看護師とは

認定看護師とは、21の特定看護分野において、熟練した看護技術と知識があると認められた看護師です。「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。2018年1月における全国の登録者数は18,542名、近畿地区に3,313名、京都府下においては414名となっています（日本看護協会資料による）。



認定看護師バッジ

認定看護師は、どんな活動をする看護師？

患者さんやその家族により良い看護を提供できるように認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たすことにより、看護ケアの広がりや看護の質の向上を図ることに努めています。



1 実践

特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。

2 指導

特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に対して指導を行う。

3 相談

特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。

認定看護師になるには

日本国の
看護師
免許を
取得



看護師の免許所得後、
実務研修が通算
5年以上であること

（そのうち
3年以上は希望する
認定看護分野を実務）

認定看護師
教育機関
（課程）修了

（6ヶ月・
615時間以上）

5年ごとに更新

（看護実践と
自己研鑽の実績に
ついて書類審査）



日本看護協会の認定審査
（筆記試験）に合格し、
認定証の交付を受けて登録すると
認定看護師に！

当院では、現在、認定看護管理者2名と7名の認定看護師が活躍しています。
それぞれの分野の認定看護師さんからコメントをいただきました。

5・6ページでご紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師

深川 暁

私は2011年に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得しました。皮膚・排泄ケア分野の主な役割は褥瘡（床ずれ）を中心とした皮膚のケアや、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）ケアなどです。当院でストーマを造設された方には退院後も不自由のない生活をしていただくために「ストーマ外来」でケアを行っています。舞鶴地域も高齢化により高齢者の独居や老老介護なども多く、病院と地域が密接に関わる必要性を実感しています。褥瘡（床ずれ）や難治性のキズ、ストーマでお困りの方はぜひご相談ください。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

谷口 肇

摂食・嚥下障害とは、疾患や加齢によって食べ物を噛む・飲み込むという動作が困難になる障害のことで、それにより窒息や脱水、栄養障害、肺炎などの重篤な事態に発展することがあります。また、患者さんから食べる楽しみを奪うことにもなるためQOL（生活の質）に関わる問題にもなります。

高齢化社会に伴い、加齢性変化や脳卒中などの疾患により、摂食・嚥下障害を抱える患者さんが増えつつあります。しかし、自分の口で食べることは生命維持だけでなく、食べる楽しみというQOLに関わることであるため、簡単に経口摂食困難と判断してしまうべきではありません。安全・安楽に食べることを目指し、食べる事の大切さを伝えていきたいです。

認定看護師の

その1

声

がん化学療法看護認定看護師

藤本 尚裕

がんは、糖尿病や高血圧と同じように、現在、慢性期の病気と言われており、当院でも、たくさんのお患者さんが、副作用症状と向き合いながら、長期間の外来治療にのぞまれています。その中で、複雑な治療を患者さんが理解できるように、分かりやすく情報提供を行い、患者さん自身が、副作用症状をコントロールでき、自宅で生活していけるようなサポート体制を作りたいと思い、現在、取り組んでいます。

少しでも、治療への不安を拭うことができ、日常生活の中での身体的・精神的な負担を軽くすることで、「その人らしく生きる」ことのお手伝いが出来ればと思っています。現在、化学療法センターとC棟4階に所属していますので、お気軽にご相談ください。

がん性疼痛認定看護師

松岡 美和

がんという病気は身体に感じる痛みはもちろん、生活していくうえで、精神的・社会的・スピリチュアルな面がからみあって、患者さんご家族ともに大きな痛みとなります。

がんになっても痛みで苦しむことなく自分らしい生活が送れるよう身体的な痛みを切り口に、専門的な視点から患者さんを全人的にとらえて様々な問題について考えていきます。

具体的には、①適切な薬剤の選択や使用方法・副作用などを検討し、医師や薬剤師と相談すること②痛みをはじめとする辛い症状が軽減できるような看護援助をスタッフとともに考え、より質の高いケアを提供すること③外来の時点から関わり、安心して自宅での生活が送れるような環境整備の提案や、状況をみながら通院中や退院後の在宅訪問を実施し、継続して切れ目のない緩和ケアを行なうことなどです。

（掲載 順不同 敬称略）

救急看護認定看護師

渡瀬 美恵子

救急医療の現場では、対象患者さんや傷病の種類は幅広く多様で、予期できない状況にあることが特性であり、常に予測・準備・即応性が求められます。また、混乱する状況下でも、優先度に応じたトリアージの実践や、災害時の急性期ケアも行います。

迅速で確実な救命技術や救急看護技術の実践、さらに、危機状況にある患者さんや家族への精神面への早期介入や支援を実践する役割を果たしていきたいと考えています。どのような状況においても、医師や他の医療従事者と情報交換や共有を密に行いながら、救急医療現場のチームワークを大切にし、調整役が発揮できるよう頑張っていきます。

認定看護師の

その2

声

感染管理認定看護師

森下 由美

病院に出入りされる患者さんをはじめ、患者さんのご家族、面会の方、職員にわたる全ての人を医療に関わる感染から守り、また感染を拡大させないための活動をしています。活動内容としては、感染管理に関するデータを継続的に収集・分析し、現場へ結果を返すというサーベイランスを中心に、院内感染対策マニュアルの作成や改定、院内教育、院内巡視などを感染制御の専門職種と協働しながら行っています。最近では、病院内だけでなく近隣の他病院との連携強化に努め、地域全体の感染対策の質の向上も視野に入れて活動しています。

集中ケア認定看護師

畠 勇二

集中ケア認定看護師の役割は、生命の危機状態にある患者さんやそのご家族へ、幅広い知識と技術を使い早期回復に向けたケアやサポートを行うことです。

当院は急性期病院であり重症患者さんが入院されます。重症であっても、常に退院後の姿を思い描きながら看護を実践しています。その姿を思い描くことで、命を支えることの大切さを改めて感じ、今の自分たちに求められる看護ケアは何かを日々考え実践に活かしています。

職場は集中治療室（ICU・CCU）になります。院内外での研修会講師や指導・相談などを行い、スタッフのレベルアップを図ると共に自身の知識と技術の向上に日々精進しています。

（掲載 順不同 敬称略）

舞鶴共済病院 理念と基本方針



理念 Idea of Maizuru Kyosai Hospital

当院は患者さんに
良質で安心していただける医療を
提供いたします

基本方針 Basic Policy

1. 良質で安全な医療

私達は安全で質の高い医療をめざし患者さんの信頼を得るよう全力を尽くします

2. 患者さんを中心とした医療

私達は患者さんの人格・権利を尊重し十分な説明を行うとともに患者さんの了解のもとに医療を行います

3. 地域との積極的な連携

私達は地域の医療ニーズに応え地域と密接な連携を大切にします



「ながら」の話

「ごはんを食べながらテレビを見るなんて行儀が悪い!」と子どもの頃によく叱られましたが、実はこの「ながら動作」が脳を活性化させ、転倒予防にも関係することがわかってきました。

高齢者の方に歩行中話しかけた際、会話するために立ち止まる人と、歩きながら会話することが出来る人とは、立ち止まる人の方が転倒しやすいという報告があります。

“歩きながら話す”ということは、「歩く」と「話す」の2つの課題を同時に行なっている状態で、これは高度な体と脳の機能が必要とされます。

2つの課題を同時にこなす能力が弱くなると、つまずいたりバランスを崩したりして転びやすくなります。この能力を鍛える為に、すこやか森でも歩行中に会話をしたり、座って足踏みをしながらしりとりをするなど、2つの課題を同時に行なうリハビリをしています。

逆に、歩行が不安定な方は、別の事に注意がいくと転びやすくなるため、話しかけずに歩行に集中してもらうこともあります。

子どもの頃は叱られていた「ながら動作」、転ばない体作りのためにみなさんもやってみませんか？

理学療法士と
お話をしながら、
歩いて頂いています。



2重課題に
チャレンジ!!



椅子に座って
足踏みをしながら

- ① 野菜の名前を10個
- ② 都道府県名を10個
- ③ 赤い物10個

を声に出してみましょう!

※無理せず休憩しながらしましょう。

診療時間・外来各科診察担当医

H29.10.1 現在

診 療 科		月	火	水	木	金	
総合内科※1		再 診	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	—	湯地 雄一郎
呼吸器内科・神経内科※2		(予 約)	【神経内科】 上村 紀仁／梶 誠児	—	【呼吸器内科】 岸本 道博	—	—
血液免疫内科		血液内科	—	—	—	—	—
		リウマチ膠原病内科※2 【初診(予約)・再診】	—	佐藤 智美	—	—	梅原 久範 (3～4回/月)
消化器センター	消化器内科※1 外 科	1診【消化器内科】	渡邊 国嗣【再診のみ】	担当医	渡邊 国嗣	井本 智宏	渡邊 国嗣
		2診【消化器内科】	—	井本 智宏	山本 富一	【肝臓】廣濱 昌尚	井本 智宏
		3診【共通】	—	—	—	午後【緩和ケア 外来・相談】 (予約制)	—
		午後【消化器内科】	【検 査】	—	【検 査】	—	【検 査】
		4診【外科】	竹内 一雄	竹内 一雄	—	竹内 一雄	—
		5診【外科】	—	田海 統之	【手 術】	杉森 順二	【手 術】
		午後【外科】	【手 術】	【検 査】	—	【検 査】	—
		循環器センター	循環器内科	1診【初診】	加藤 雅之	刑部 正人	松尾 清成
2 診	田川 雅梓			松尾 清成	刑部 正人	(第1・3・5週) 亀井 (第2・4週) 田川	亀井 俊治
3 診	石瀬 昌三			相木 孝允	加藤 雅之	臼井 公人	—
4 診	【ペースメーカー外来】※5 児島 成之			【不整脈【初再診】】※1 児島 成之	—	—	【不整脈【初再診】】※1 児島 成之 午後(12:30～16:00)
心臓血管外科※1	1診【心臓外科】		—	松下 努	—	松下 努	—
	2診【血管外科】		—	増田 慎介	—	増田 慎介	—
	(予 約)		【手 術】	【手 術】	—	【手 術】	(第1・3週) 【ステントグラフト外来】※5 坂井 修 (第2・4週)【動脈瘤外来】※5 林田 恭子
小 児 科	1 診		野口 正	堀澤 徹	野口 正	野口 正	堀澤 徹
	2 診	堀澤 徹	野口 正	増田 淳司	堀澤 徹	増田 淳司	
	午後(予約)※5	【予防接種】※6 堀澤 【慢性疾患外来】 担当医	(第2週以外)【心臓外来】奥村 (第2週)【神経外来】舞鶴 【慢性疾患外来】担当医	【乳児健診】※6 担当医 【慢性疾患外来】 担当医	【予防接種】※6 野口 【アレルギー外来】増田 【慢性疾患外来】担当医	【慢性疾患外来】担当医 【冬期間】 【シナジス・インフルエンガ予防接種】	
整形外科※1	1診【初診】	野口 学	【手 術】	松田 正樹	内藤 充啓	松田 正樹	
	2診【再診(予約)】	松田 正樹		野口 学	野口 学		
	3診【再診(予約)】	内藤 充啓		内藤 充啓	松田 正樹		
皮 膚 科※3		1診【再診】	—	木崎 二郎	—	益田 浩司 午後(12:30～15:00)	
泌尿器科		1 診	岩崎 比良志	布施 春樹	布施 春樹	岩崎 比良志	
		2 診	—	福井 彩子	—	—	
		午 後	【手術】／【検査】	布施 春樹(予約のみ) 【検査】	【手 術】	布施 春樹(予約のみ) 【検 査】	【手 術】
産婦人科		1診【婦人科】	河原 和美	佐藤 加奈	河原 和美	伊藤 太郎	
		2診【産科／婦人科】	伊藤 太郎	河原 和美	佐藤 加奈	河原 和美	
		午 後	—	(予約)【腫瘍外来】	【手 術】	—	【手 術】
眼 科		1 診	三重野 洋喜	丹羽 匡世	—	—	
		午 後	【手 術】	—	休 診	酒井 克之 受付13:30～15:30 診察14:00～16:30	休 診
耳鼻咽喉科		1 診	富田 かおり	富田 かおり	(第1・3・5週) 富田 (第2・4週) 足立	富田 かおり	—
		2 診	足立 直人	足立 直人	—	足立 直人	担当医
		午 後	【検 査】	【手 術】	【小児外来】※4 (第1・3・5週) 富田 (第2・4週) 足立	・【検 査】 ・(第1・3週・予約) 【補聴器外来】	【手 術】
歯科口腔外科※5		1診【初診(予約)】	担当医	三木 真優	福岡 浩之	担当医	田中 昭生
		2診(予約)	—	福岡 浩之	田中 昭生	—	福岡 浩之
		3診(予約)	【手 術】	田中 昭生	三木 真優	【手 術】	三木 真優
		午 後	【手術】／【外科処置】	【外科処置】	【外科処置】	—	【専門外来】

※やむを得ず予定を変更することがあります。
各外来でその旨お知らせいたしますので、
悪しからずご了承ください。

受付時間 平日8:30～11:30

但し、耳鼻咽喉科(火・金) 8:30～11:00
眼科(木) 13:30～15:30
皮膚科(金) 12:30～15:00

- ※1 総合内科・消化器内科・整形外科・心臓血管外科・循環器内科の不整脈(火・金)の初診受付には他院からの「紹介状」が必要となります。
- ※2 呼吸器内科・神経内科・膠原病内科の初診受付に、他院からの「紹介状」がある方は予約をお取り下さい。
- ※3 皮膚科は再診のみとなります。
- ※4 耳鼻咽喉科の小児外来(再診) 受付(水)15:00～16:30
- ※5 ペースメーカー外来・ステントグラフト外来・静脈瘤外来(完全予約制)
歯科口腔外科(紹介完全予約制)
小児科・午後(予約制)
- ※6 小児科／乳児健診(要予約) 受付(水) 13:45～15:00
予防接種(要予約) 受付(月・木)13:30～15:30

外来診察のご案内

- 診 察 日 月曜日～金曜日
- 休 診 日 土曜日・日曜日・祝日・
年末年始・創立記念日
- 受付時間 8:30～11:30

急患の場合は
この限りではありません。

面会時間について

- 平 日 14:00～20:00
- 休 診 日 10:00～20:00

なお、病状などによってはご面会をお断り
する場合がありますのでご了承ください。

当院では、患者さんの安静と治療のため、
面会時間を定めています。

病院への案内図

